**企業の挑戦❶**

**災害に強い**
**ハイブリット型**
**物流センター**

# 株式会社エース

## 無人フォークリフトや電動ラックを活用し、24時間対応の倉庫を実現

昨年の北海道胆振東部地震が引き起こしたブラックアウトは、物流業界にも大きな打撃を与えました。〝安全が確保できない〟と大手同業者が営業を停止しましたが、㈱エースが選択したのは、通常通り業務を遂行することでした。当日朝、発電機をいち早く手配し給油体制を整えると、ドライバーたちは信号機が作動しない交差点を慎重に徐行しつつ、スーパーやドラッグストア、病院などのお客様のもとに商品を運び続けたといいます。

「生活物資の供給を決して止めない」会社としての覚悟は、昨年10月に新港南地区に竣工した「石狩第7物流センター」にも表れています。

24時間商品を受け入れ、搬送するための設備として初めて無人フォークリフトと電動ラックなどを導入。これにより全作業の6~7割の自動化を目指します。当初は8~9割の自動化を計画していましたが、震災を受け、有人作業も4割ほど残し、災害にも強い〝ハイブリッド型物流センター〟として3月から稼働する予定です。

レーザーの誘導により走行する無人フォークリフト。これにレール不要の電動ラックを組み合わせて商品を搬入・搬出するのは全国初の試み

石狩第7物流センター

延床面積3,000坪を誇る㈱エースの“旗艦センター”。大型車が28台同時に接車でき、「入荷トラック予約システム」も導入するなど車両を待たせない仕組みを構築します。写真は、レールレス電動ラック。

代表取締役会長
林 博己氏

ここ数年で石狩湾新港から入ってくる商品も増えました。港と工業団地が札幌圏にあるメリットを感じています

**企業プロフィール 株式会社エース**

昭和59年創業。平成元(1989)年に石狩湾新港地域へ進出。平成6(1994)年、第1石狩物流センターが完成。“お客様に最高の物流を提供し、その発展のお手伝いをする”がモットーの総合物流企業です。

品質管理室

専門分析員が製品のおいしさの研究はもちろん、安全・安心のため全ての精米サンプルを分析し、品質基準を満たした商品だけを出荷。製品の品質履歴も厳しく管理しています。

**企業の挑戦②**

**北海道米を海外へ**

# ホクレン パールライス工場

## 北海道米を中国に向けて輸出

昨年9月に北海道米36トンが石狩湾新港から初めて中国に輸出されました

先進的な技術と品質管理基準をクリアする精米工場として知られるホクレン パールライス工場が、昨年5月に中国向け輸出指定精米工場の認可を受け、中国向けに日本産精米を輸出できるようになりました。国内では人口減少などに伴い米の需要が年々落ち込み、その消費量は推計730万トンと言われています。対する中国では1億5千万トンが見込まれ、対中輸出は今後の北海道米の新たな活路として大いに期待を集めています。

米の海外輸出は、食の多様化による消費減少など将来的なマーケット縮小を見据え、安定した農業経営と所得向上のため、これまでも東南アジアを中心に戦略的に価値向上を図りつつ取り組んできました。新港西地区にある同工場は輸送コストの面からも優位性があるといいます。

とはいえ、やはり重要なのは地元の消費者にお米をおいしく食べてもらうこと。そのため同工場は「ファン(楽しい)ファクトリー」として見学ルートを設け、消費者、中でも子どもたちとの関わりを大切に、生産者・流通関係者・消費者を結ぶ工場を目指しています。

**企業プロフィール ホクレン パールライス工場**

平成14(2002)年操業開始。一歩進んだ食品工場として、品質・衛生・生産管理により安全・安心でおいしいお米を製造しています。またコミュニケーション型の工場を目指して見学ルートを設定。年間約1万5,000人が来訪します。

パールライス総合課 課長
田仲 啓一氏

国内需要の確保に取り組む一方、海外市場へも戦略的に石狩湾新港から北海道米を輸出しています